

ON YOUR SIDE

ACC YOUNG CREATIVITY COMPETITION
ご応募の皆様へ



株式会社クボタは、
大阪・関西万博 未来社会ショーケース
プラチナパートナーです。
©Expo 2025

「食料・水・環境」の分野で、社会課題の解決に向けてグローバルに事業を展開するブランド

創業1890年から現在に至るまで、絶え間ない技術革新と製品開発により、社会課題の解決に貢献。今では世界120か国以上でビジネスを行う売上高3兆円、グループ社員52,000人の企業です。



事業の礎



1893 国内で初の「水道用铸铁管」の量産化に着手



1947 農業機械化の先駆けとなる「耕うん機」を開発



1960 農村部の労働力不足を支えるため「トラクタ」を開発



社会の発展と共に



1962 「水処理事業」に進出、顕在化してきた水質汚染問題に対応



1968 現在の「田植機」の原型を量産化



1974 小型建機ミニバックホーの製造開始。都市型工事に貢献



SDGsの達成に向けて

事業と関連の濃いSDGs

クボタグループは、農業の効率化によって豊かで安定的な食料の生産に貢献します。

食料

クボタグループは、水インフラの整備によって安心な水の供給と再生に貢献します。

水

クボタグループは、社会基盤の整備によって快適な生活環境の創造と保全に貢献します。

環境

地球環境テーマ

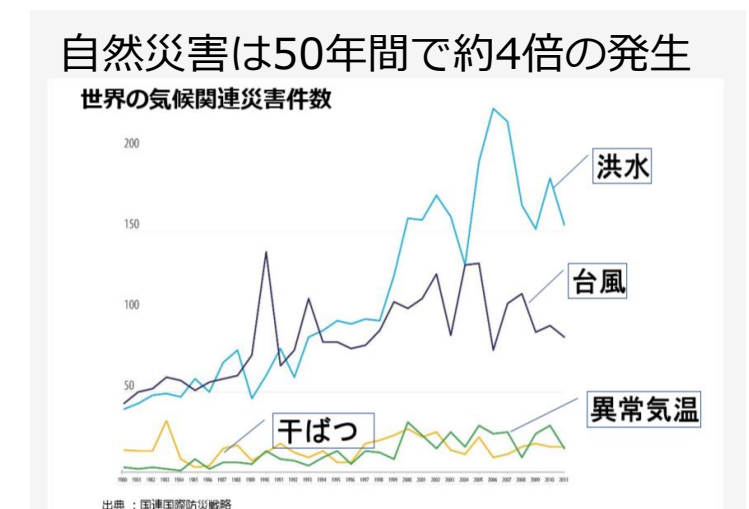
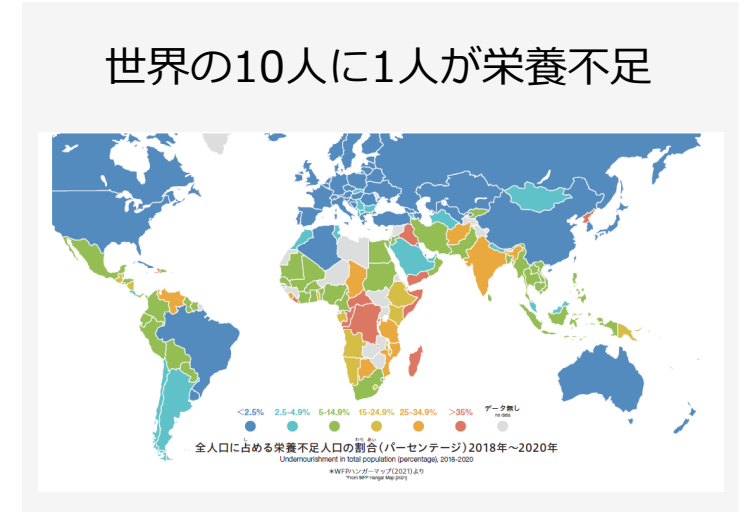
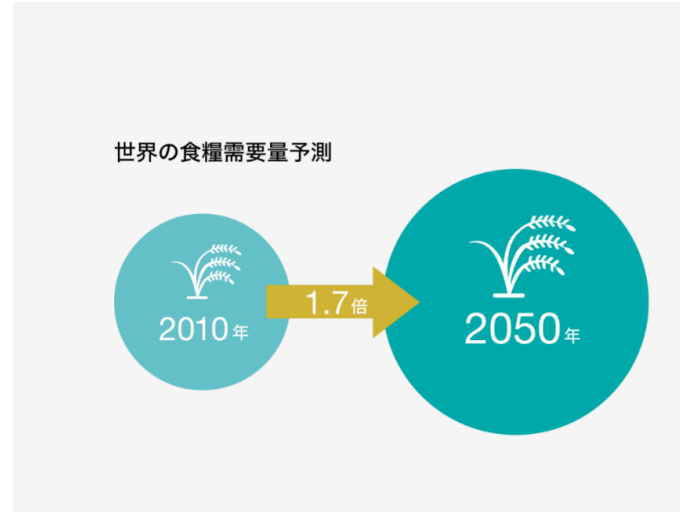
13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさも守ろう



現在、食料に関わる領域で様々な課題が生じています。生きるを支える農業も厳しい局面に直面しています。しかし多くの人があることに気づいておらず、食と農業が切り離されている状況とも言えます。



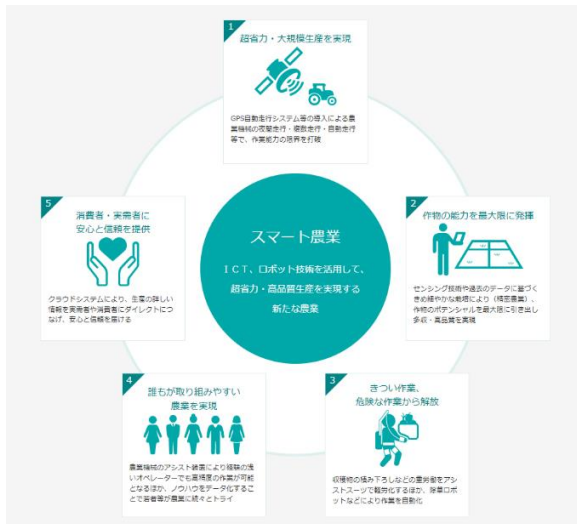
クボタはフードバリューチェーン全体を通じて課題解決へ挑戦しています



食料と農業に関する課題は、食料生産部分はもちろんのこと、フードバリューチェーン全体の視点で取り組む必要があります。クボタだけではなく、バリューチェーンに関わるすべての人が取り組む必要があります。



【クボタの挑戦】



農機自動化・無人化技術



EV/FCV農機



米輸出事業



農業学習施設



データ活用による精密農業



GHG削減



玄米ペースト事業



次世代育成 (アグリキッズ)